

第3回大会制覇は！

はずれもん（混合の部）

秋 桜（プラチナの部）

混合は、「TKU八代住宅展示場」のCMに出演しているメガネカップ坂本率いるはずれもんが、初制覇した。

プラチナの部は、平均余命20年をきった秋桜が2度目の制覇を成し遂げた。

今回棄権チームが多く出たため、予選決勝共に、ジャパンカップの総当たりリーグ戦方式で行われた。

予選パートの1位チームは、はずれもんをはじめ、シャーマン、アイリッシュ、秋桜25、まぐにちゅんど、サファリパークといずれも実力十分なチームが揃い、星の潰し合いが予想されたものの、5戦全勝で「はずれもん」が制した。

勝因は、なんと言っても雄一がキレなかった事に尽きる。やはり、尻に轢かれている彼女と一緒にいることで全てがプラスに作用するのであろう。

願わくは、お互いの仲もキレなければいいが・・・？

SSK「テレサテンでしょうね。何で雄一なのって思いますよ！彼女も若いんだから、将来性を考えると・・・やっぱり春日八郎でしょう！」

(注) テレサテンの代表作「〇れの予感」
春日八郎の代表作「〇れの一杉」

不運「デビルズKING」組み合わせに泣く！ 針魔王に痛い敗退VOICE！

予選で、はずれもんとは大接戦（20対19）を演じたデビルも、この一戦のみの負けで、後は全勝しただけに悔やまれるところであらう。

また、前回の覇者VOICEも予選で新規参入の針魔王の若さ（一人だけ除く。ミツちゃんゴメン）の前にまさかの敗退が最後まで尾を引いた。

予選リーグを1位通過することだけでも大変なことであるが、予選決勝無敗の「はずれもん」は、賞賛に値する。

また、前年度総合ランキング1位のシャーマンは詰めめから、またも優勝を逃した。折角、永松が引退してチーム力がアップし、練習三昧の日々を過ごしているのに残念である。

安芸の〇田口の長男で、ミニバレーの隠し子ビーバーセイヤで勝っているように思われがちなアイリッシュであるが、それは素人の考え。審判では気弱な阿部も試合になると大魔神に変身。自分の役割を十分理解したプレーをする。線の細い〇〇も地味ではあるが確実な素早いプレーでチームに貢献している。また、安芸の〇田口もパッチワークなどプロ並みの腕前で・・・？（パッチワークとミニバレーは関係ないでしょーが！マッタク！）

つ・ま・り、手先が器用でトスワークがいいという

ことですよ！（最後までちゃんと聞くべし！）
4人個々の力では、群を抜く秋桜25であるが、如何せんプレーが雑！さらにサブが入らないのが敗因。折角、SSKという素晴らしいプレーヤーと練習できる他のチームにない環境下にありながら残念である。もつとSSKのプレー、ミニバレーに対する姿勢、そして生涯学習姿勢と日々の生活態度を貪欲に吸収して欲しいものである。

ケガが完治せず、体調不良の松永の代わりを十分果たした、やがて還暦を迎える林田の頑張りや家族的なチームワークでAリーグ入りを決めた「まぐにちゅんど」も安定していた。ここは、大巨漢（110kg超）酒井の破壊力十分な豪打と巧みな松永の軟打が上手にかみ合えば強い。

今回のAリーグ入りの中でダントツに平均身長が低いのがサファリパーク。（畑野一人で平均身長を下げてはいるが？）このチームは確かに器用ではあるが、それが災いするケースも多々ある。存在感豊かなゲームメーカー工藤貴子と存在感の強い畑野純子共に巧みなトスワークでタカ&石田を操るもの肝心の二人が・・・？

しかしながら、今回の戦績には不満が残るが、混合ではトツプクラスの実力チームであることに間違いはない。先ず、男子二人が生活態度を悔い改めることが大事である。

順位こそ下位ではあるが、メイビー、ビビアンチ隊などは、潜在能力の高いチームであり、今後の飛躍に期待したい。

また、ピースV21スマイルの若さ溢れるプレーとひたむきな姿勢には感銘を受けた。これからの学業とミニバレーの両立を目指してもらいたいものである。

今回は、ジャパンカップ方式で開催されたものの次回大会は今回の棄権チームが加わりトナメント方式が採用される可能性が高い。また、使用コート数により組み合わせも多少違ってくるが、基本的に今回同様ジャパンカップZ方式組み合わせで行われる。

2Ndステージは、初めて松橋で開催されるので間違いないように御願いたい



八代住宅展示場で
お馴染み？
カップ坂本です！

も、モチロン！
君しか見えないヨ！

雄一！
私について
くるのヨ！

そういう時も
あったわね～え
・・・

第3回大会優勝 はずれもん

SSK談

「愛はずれもんを救う！」
ですか？

まあ！若いうちの恋愛は大いにすべし！

本物の愛というものを今度私が教えてあげるよ！

陰の声

「本物の愛は2度も3度もあるの？」

SSK

「・・・人生に別れはつきものなの！」

なんだ東京神田と言っても、今回のはずれもんは、ジジババコンビとヤングコンビが上手くかみ合い立派の一言でした！
シャーマンも1回位ステージ制覇しないと、混合版パンゲアと云われますのでご注意ください！

秋桜（プラチナの部）根性の制覇！

戦前の予想では、ポパイ、キララ、ハニーの争いかと思われたが、平均余命の最も短い（平均寿命の最も高い）前年度総合優勝の秋桜が2度目のステージ制覇を成し遂げた。

平均年齢で圧倒的高さを誇る秋桜のために、救急車を手配していたのだが、終わってみれば圧勝。まさに21世紀最大の奇跡であった。

勝因はミニバレー歴60年で培った巧妙さと経験、そしてSSKの指導に尽きる。

とにかくこの制覇は、他のチームの励みになるであろうし立派の一言以外にない。

ジャパンカップでも活躍した強打の杉浦率いるポパイ、若さの？（プラチナの部では）さらに、ハニーらの強豪チームも今まで対戦したことがないような巧妙というか老獪さに翻弄され、実力を発揮できないまま終わった感であろう。

コスモVカップは、他の大会と違い勝っても負けても最後まで10試合戦うだけに体力も精神力も必要となってくる。

日頃のしっかりした練習が重要になってくるし、それが健康維持と若さの秘訣になるであろう。

この大会に参加される方々が、ミニバレーの基礎を作り発展に貢献されたお陰で今があるのではないだろうか？

SSKを含む若年層の選手は、もっとミニバレーが発展するように諸先輩を手本として頑張っていかなければならないと思う。

この大会に、ジャパンカップ卒業生が数多く参加されることを願っている。

（名和さん、西田さん、松本さん等27会の選手も早くこちらへお越し下さい。お待ちしております。）



プラチナの部表彰式（優勝 秋桜 エース倉本）

写真撮影をと声をかけたら、皆さん蜘蛛の巣を散らすようになりました。理由を尋ねると？「試合後は、化粧が崩れるでしょう！」とのことでした。（ビックリ！！）女性なんですねぇ～！

J-CUPの皆さんに聞かせたいですよ！